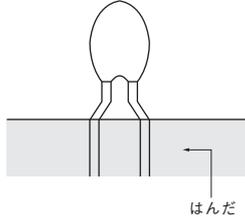
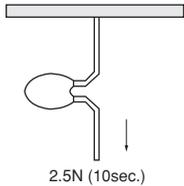
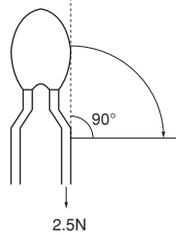


No.	項目	規格	試験方法
1	低温放置試験	<ul style="list-style-type: none"> ・抵抗値変化率 (R25℃) : ±1%以内 ・B定数変化率 (B25-50℃) : ±1%以内 	温度-40±0/-3℃の恒温槽中に入れ、1000+48/-0時間放置する。
2	高温放置試験		温度125±2℃の恒温槽中に入れ、1000+48/-0時間放置する。
3	高温連続負荷試験	<ul style="list-style-type: none"> ・抵抗値変化率 (R25℃) : ±2%以内 ・B定数変化率 (B25-50℃) : ±1%以内 	85±2℃空气中で温度検知用動作電流を1000+48/-0時間通電する。
4	湿中放置試験		温度60±2℃,90~95%RHの恒温恒湿槽中に入れ、1000+48/-0時間放置する。
5	温度サイクル試験	<ul style="list-style-type: none"> ・抵抗値変化率 (R25℃) : ±1%以内 ・B定数変化率 (B25-50℃) : ±1%以内 	-40℃+0/-3℃ (空气中) 30分間 常温 (空气中) 10~15分間 125℃+3/-0℃ (空气中) 30分間 常温 (空气中) 10~15分間 を1サイクルとし100サイクル行う。
6	絶縁耐圧		・D.C.100V 1分で異常がないこと。
7	はんだ耐熱性	<ul style="list-style-type: none"> ・抵抗値変化率 (R25℃) : ±1%以内 ・B定数変化率 (B25-50℃) : ±1%以内 	リード線をFig-1に示す所まで、350℃±10℃, 3.5±0.5秒間、または260℃±5℃, 10±1秒間 はんだ (Sn-3Ag-0.5Cu) 溶液中に浸漬する。  Fig-1
8	はんだ付け性	・リード線の円周方向90%以上で、軸方向に浸したところまで切れ目なく、はんだが付着していること。	リード線をロジン (JIS K 5902) のイソプロピルアルコール (JIS K 8839) 溶液 (約25wt%) に5~10秒浸漬し、次に、Fig-1に示す所まで、245±5℃のはんだ (Sn-3Ag-0.5Cu) 溶液中2±0.5秒間浸漬する。
9	リード線引張り強度	<ul style="list-style-type: none"> ・抵抗値変化率 (R25℃) : ±1%以内 ・B定数変化率 (B25-50℃) : ±1%以内 ・樹脂部外観に異常がないこと。 	Fig-2に示す引張試験において、2.5Nになるまで荷重を加え、10秒間保持する。  Fig-2
10	リード線曲げ強度	・リード線の断線なきこと。	Fig-3のようにリード線を保持し、2.5Nの荷重を加え、本体を90°曲げて元に戻す。反対方向にも90°曲げて元に戻す。これを2回繰り返す。  Fig-3
11	自然落下	<ul style="list-style-type: none"> ・抵抗値変化率 (R25℃) : ±1%以内 ・B定数変化率 (B25-50℃) : ±1%以内 ・樹脂部外観に異常がないこと。 	1mの高さからコンクリートの床上に1回落下させる。
12	耐振性		サーミスタを取付け台にはんだ付けし、これを試験機に固定する。振幅0.75mm (全振幅1.5mm)、周波数10Hz~55Hz~10Hzを1分間の周期とする振動を互いに直角な3方向に各2時間行う。

※・R25は25℃のゼロ負荷抵抗値です。
 ・B25-50は25-50℃のゼロ負荷抵抗値より算出した値です。
 ・試験後常温常湿中 (25℃) に1時間放置後測定します。